

## Ⅱ 整備基準の解説

障害のある人もない人も、子どもから高齢者まで、誰もが家庭や地域の中で通常の生活ができる、真に豊かな社会の実現が求められています。

そのためには、多くの人々や障害のある方々が利用する場所や施設は、特に安全で誰もが支障なく自由に利用できるものにしていかなければなりません。